

指定管理施設(サンホーム滝呂)事業評価表
滝呂児童センター 事業分

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H28	平成28年度の参加人数					実施回数 H29	平成29年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28 年度	H29 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・ベビーズクラブ	月2回程度	10回以上	13	12	16	226	0	0	232	458	16	205	0	0	219	424	0歳児クラブであるため簡単な手遊び、保護者同士の交流、季節遊び、工作等を展開。活動中は交流しやすい雰囲気作りに努めた。その結果クラブに参加して親子同士で友人が出来たとの感想を得ている。また次年度以降の乳幼児クラブの参加を希望している親子が多いことから利用者の満足度は高いと考えられる。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・ぴよぴよクラブ	月2回程度	10回以上			24	159	0	10	150	319	16	253	0	0	252	505	家庭で行えない遊びの提供及び活動を通して親子関係を深める事を目的として幼児の運動機能に合わせボールやトランポリン等を用いた運動、季節に合わせた工作、新聞紙あそび等を展開。活動をする中で幼児への声のかけ方や集団遊びのルールを学べたという利用者からの評価もあり目的通り実施出来たと考えられる。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・ちびっこクラブ ・キンダークラブ	月2回程度	10回以上			41	542	0	0	596	1138	31	364	15	0	287	666	運動系と工作系の2クラブを設置。両クラブとも2歳児の発育に合わせた内容とした。また順番を守る、他の幼児に遊具を分ける、譲るといった社会性を育むことも目的として展開した。保護者自身も集団の中で自らの子どもへの声のかけ方を学ぶ場として機能し、市の取組みの一環である親育ちの場としても役割を果たすことが出来た。
	小 計					81	927	0	10	978	1915	63	822	15	0	758	1595		
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・滝っ子お話し会 (毎月1~2回) ・親子であそぼう (毎月1~2回) ・英語であそぼう ・ちゃっぷん水遊び ・なないろひろば 等	適宜	—	14	14	34	164	2	0	149	315	39	193	6	0	163	362	今年度途中から新規事業として、集団活動に不安を感じている乳幼児親子を対象とした少人数制のクラブ「なないろひろば」を開始。定員を最大10組とし、親子運動遊び・工作遊び等を行っている。活動中に職員の補助・声かけを徹底した結果、集中して活動に取り組む子の様子を見て、保護者の育児に関する不安軽減に繋がる事業となった。
小 計					34	164	2	0	149	315	39	193	6	0	163	362			

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H28	平成28年度の参加人数					実施回数 H29	平成29年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28年度	H29年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	①一輪車クラブ	月2回程度	6回以上	13	14	15	76	242	0	0	318	17	0	307	0	0	307	児童対象に3クラブを設置。その中でも社協が運営する7館全てに設置してある子どもスタッフクラブでは、施設内・滝呂中央公園清掃や複合館の長所を活かし高齢者慰問等様々な奉仕活動を行ってきた。高齢者・地域住民からの感謝の声を得ること、幅広い奉仕活動の場を提供することで、意欲的な児童の確保に繋がっている。一輪車クラブでは初級者・上級者の実施時間を分けることで職員による見守りと補助を徹底し、児童が安全に参加出来る状況を整えている。どのクラブも館外活動や地域の方々と交流出来る場を設けた結果、継続的に参加する児童が多く、安定したクラブ運営に繋がっている。また職員の声かけにより、上級者が初級者の時間帯に参加し、指導や補助を通じて異学年交流を行う場としても機能している。
		子どもスタッフクラブ	月2回程度	6回以上			10	0	93	0	0	93	15	25	150	0	14	189	
		オセロ将棋クラブ	月1回程度	6回以上			17	0	121	0	0	121	16	1	98	0	10	109	
		② ボランティア活動 ・施設内壁面制作 ・幼児見守り体験 ・陶彩の径さくらまつり補助 ・施設内外清掃活動 ・高齢者への奉仕活動 (デイサービス)	月1回程度	随時			14	1	63	6	0	70	12	1	71	2	0	74	
	小 計					56	77	519	6	0	602	60	27	626	2	24	679		
	2	③ 児童自主事業 ・新1年生集まれ ・チャレンジ番付(毎月) ・滝っ子お話し会(毎月) ・トランポリン(毎月) ・ガサガサ探検・星を観る会 ・卓球大会・バドミントン大会 ・子どもスタッフ交流会(7館合同)	適宜	—	14	13	66	113	799	33	251	1196	79	75	734	20	111	940	他団体・機関主催の児童対象事業が増加傾向にある中で当センターの特色を活かし、運動・工作・クッキング系の事業を企画。それらを定期・単発的に展開した。滝呂台に住む児童の参加もあるが、比較すると施設周辺に住む児童の参加が多い傾向にある。当事業に参加することで来館頻度も高くなり、安定した来館者の確保に繋がっている。
		小 計					66	113	799	33	251	1196	79	75	734	20	111	940	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H28	平成28年度の参加人数					実施回数 H29	平成29年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28 年度	H29 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・サンホーム滝呂 ふれあい春まつり	年1回	1回以上			1	100	160	30	260	550	1	72	198	52	278	600	児童が主となり考案した遊びのブース・飲食販売・抽選会等を企画して、施設全体の春まつりを実施。各ブースの来場者の対応も児童が中心となり行った。また多様化するニーズに対応する為ベビーヨガやメイク体験等のブースを他団体・機関に依頼し設置。より多くのブースを展開することで多くの来場者があり、それにより児童センターのPRにも繋がった。
		② 移動児童館 ・29区陶彩の径さくらまつり ・移動児童老人センター ・笠原福祉まつり ・多世代交流会 (笠原中央公民館主催)	年4回	地域事情に応じて	13	14	4	38	89	1	44	172	5	74	146	15	145	380	地域内外の催しに積極的に参加し、主に乳幼児から児童が楽しむことの出来るお菓子すくいや簡単な運動遊びのブースを設置。当センターブースに参加してもらうことにより、来館したことの無い市民へ当センターをPRし、その後来館するケースもあり来館者の確保に繋がっている。また主催団体・機関との連携強化も出来ている。
	小 計						5	138	249	31	304	722	6	146	344	67	423	980	
	2	③ 地域・多世代自主事業 ・ふれあいまつり(夏・秋) ・合同敬老会 ・合同お楽しみ会 ・多世代卓球交流会 ・炊き出し体験 ・合同花餅作り ・多世代交流会 等	適宜	—	13	14	16	127	263	15	846	1251	22	113	324	47	1200	1684	複合館の長所を活かし、老人センター利用者との卓球交流会やデイサービス慰問といった高齢者との多世代交流事業を企画し実施。主たる目的として参加者の高齢者を思いやる心の成長を図ったものである。また地域交流事業として施設のまつりを実施し、市民へ当施設が気軽に来館できる施設であることをPRした。昨年度より実施回数を増やした結果、昨年度の実績を上回る結果となった。
						16	127	263	15	846	1251	22	113	324	47	1200	1684		

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H28	平成28年度の参加人数					実施回数 H29	平成29年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28 年度	H29 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
中学生事業	1	① 中学生ボランティア ・ふれあいまつり補助 ・卓球大会及び練習会補助 ・一輪車クラブ補助 ・陶彩の径さくらまつり補助 ・ちゃっぷん水遊び補助 ・年末お楽しみ会会場設置補助 ・新春お茶会補助 等	適宜	3回以上	13	13	13	0	8	53	0	61	13	0	0	55	0	55	次世代の親の育成の一環として、主に多治見中学校が設けている「輝き隊」と連携し、中学生対象に乳幼児ふれあい体験・施設全体のまつり・児童対象事業補助等といった幅広い世代と交流出来るボランティア活動の場を提供。活動を通じて様々な世代と交流し心の成長を促すことに繋がった。また長期夏期休業時には社協内他部署と連携しボランティア活動の場を提供している。
	小 計						13	0	8	53	0	61	13	0	0	55	0	55	
	2	② 中学生 自主事業 ・中学生スポーツチャレンジ	適宜	—	0	14	0	0	0	0	0	0	5	0	18	10	0	28	中学生の居場所作りを目的として運動遊びを中心とした事業を実施。クラブ・部活動等で多忙である中学生の参加を促す為に事業の名前、実施する曜日を月毎に変更する等工夫し展開。また開始当初は中学生限定としていたが、次世代の中学生である児童も参加可能とし難易度の高い運動遊びに挑戦する場を提供した。
	小 計						0	0	0	0	0	0	5	0	18	10	0	28	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H28	平成28年度の参加人数					実施回数 H29	平成29年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28年度	H29年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業 ・子育て相談日(毎月)	月1回	月1回以上			12	1	0	0	1	2	12	3	0	0	3	6	子育てに不安を抱える保護者の不安を軽減することを目的に月1回子育て相談日を設けた。相談日当日の件数は少なかったが、来館し職員と話をすることで不安が軽減され、その後も定期的に来館する親子もあった。また相談日以外にも常時相談を設けていることを乳幼児クラブ等の事業内で告知。その結果相談日以外の開館日に年間21件の相談を受けた。その中で関係機関に繋げた事案は0件であった。
		② 講習・講演・他連携 ・親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業「多治見わんぱくまつり」 ・赤い羽根共同募金配分金事業「くすだ博士のサイエンスショー」 「体操のお兄さんとあそぼう！」 ・歳末助け合い募金配分金事業「たじみ児童館将棋まつり」	年4回	2回以上	13	13	2	134	17	0	138	289	4	27	30	1	41	99	社会福祉協議会が運営する7館の児童館・センターと連携し市内の幼児・児童親子に日常では体験し難い内容の催しを提供することを目的に当センター単独では開催することが難しい大規模な事業を実施。また社会福祉協議会内だけでなく市内の他団体(多治見ボーイスカウト)とも連携し事業を実施。どの事業も市民へ児童センターの存在をアピールし各館の来館者の確保に繋がる事業となった。
		③ 母親クラブ ・活動支援 ・防犯講習・親子リトミック ・カレンダー作り ・お片づけ講座 ・バザー出店 ・奉仕活動(図書整理等) ・クリスマス会	適宜	随時			13	88	49	2	134	273	20	91	37	0	150	278	近年、育児と就業により多忙な母親が増加傾向にあり母親クラブの会員数の確保が難しくなっている。その中で児童センターの役割として、共催事業の実施や当センター乳幼児クラブ内で参加者に母親クラブについての告知をすることにより周知を図った。また母親クラブ主催事業においても非会員が参加可能である事業に限り当センターで告知や申込対応を行った。それにより非会員の事業参加及び新規会員加入に繋がった。
	小 計					27	223	66	2	273	564	36	121	67	1	194	383		
	2	③ 子育て 自主事業 ・YYスマイルサロン	月1回程度	—	14	13	10	19	39	15	55	128	12	11	28	21	60	120	障がいを持つ幼児から高校生までが自由に活動出来る場の提供をした。子だけが活動する場だけでなく、障がいを持つ子の保護者の交流の場としても機能している。また活動内容によっては当センター職員の見守りのもとで一般来館者と同じ遊具で遊び、交流している。一般来館者と交流している姿を保護者が見ることで保護者が抱える不安の軽減に繋がっている。
							10	19	39	15	55	128	12	11	28	21	60	120	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点